

【授業実践振り返りカード】

学校名 富士見中学校	学年 1 学年（食育）
授業者氏名 栄養教諭・森田 葉子	
題材名 「 かみかみ献立を考えよう 」	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、○○に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、○○することを通して（本時の中核的な学習活動）、○○する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 全校集会やパタカラ体操で歯と口の健康について学んだ生徒が、よく噛む食材や調理方法に着目し、工夫した献立を作成することを通して、歯の健康や身体のためによく噛んで食べようとする意欲を培うことができる。	
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） ・今まで給食で出したかみかみ献立の写真 ・スライド資料 ・ワークシート	
成 果 グループごとよく噛むための工夫を取り入れた 1 食分の給食の献立を立てることができた。12 月から 2 月にかけて実際の給食でも提供予定。 生徒の感想より ・よく噛んで食べようとする意識をもつことができた。 ・よく噛む食材も軟らかい食材も噛んで食べる。  実際に提供された 1 月 15 日の給食	
課 題 献立を立てる際、食材や調理方法の工夫だけではなく栄養バランスも意識できるとよかった。 バイトスキャン測定など他の活動と関連付けられるとよかった。	

【授業実践振り返りカード】

学校名 富士見中学校	学年 1 学年（食育）
従業者氏名 松本大学 助手・碓野 佐也香	
題材名 「歯と口の健康学習 バイトスキャン測定結果振り返り」	
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 給食時にバイトスキャンを装着し、計測した生徒たちが、結果から分かる自身の咀嚼回数や姿勢に着目し、自らの咀嚼行動を客観的に理解することを通して、具体的な行動変容へと結びつける力を培うことができる。	
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） ・バイトスキャン測定結果動物レポート ・咀嚼目標チェックシート	
成 果 ・バイトスキャン測定結果動物レポート 自分の咀嚼回数、姿勢、食事時間などから様々な動物に分類されており、生徒は楽しみながら自身の咀嚼について振り返ることができた。 ・咀嚼目標チェックシート 測定結果動物レポートを振り返り、次回のバイトスキャン測定までに達成できそうな目標を各自決めた。今後、このチェックシートを週 1 回、3 週間継続してチェックを行う。	
課 題 ・バイトスキャンを正しく測定できていない生徒がいた。	

【授業実践振り返りカード】

学校名	富士見中学校	学年	全校（保健指導）
授業者氏名 学校歯科校医 三井 建三先生（三井歯科医院）			
題材名 「 歯科健診を終えて 」			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。			
主 眼 歯科健診を終えた生徒が、学校歯科校医の三井建三先生に直接、具体的に健診結果について説明していただくことを通して、自分の歯・口腔内の状態を把握し、積極的に歯科受診をしたいという態度を培うことができる。 			
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYTのイラスト等） ・「歯・口腔健康診断結果のお知らせ」（ピンクの紙） 			
成 果 歯科健診終了直後であったこと、「歯・口腔健康診断結果のお知らせ（ピンクの紙）」を見ながら説明していただけたことで、自分の歯・口腔内の状況がどのような結果であるのか興味をもって講話をお聞きできた。短時間であったが、どの生徒も集中している様子がうかがえた。本人の結果は後日配付することになっていたが、自分の結果がどうなっているのか気になり、配付前に保健室に聞きに来る生徒も数名いた。後日、「歯医者さん予約してもらったよ。」「今日歯医者行ってくるね。」「俺、三井先生の歯医者に行ってるよ。」など話にきてくれる生徒もあり、関心が高まった様子があり、学校歯科校医の先生のお力の大きさも感じた。今後とも協力を仰ぎたい。			
課 題 生徒が、自分の歯・口腔内の状況に興味が高まり歯科受診の必要性を感じたとしても、ご家庭の関心には差があり、受診できない場合もある。ご家庭の協力をどのように得ていったらよいのが課題である。			

【授業実践振り返りカード】

学校名	富士見中学校	学年	全校（生徒集会）
授業者氏名	生徒会保健委員会		
題材名	全校集会 「 歯と口の健康週間② アンケート結果（一部）と歯みがき 」		
主 眼<フォーマット>	〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。		
主 眼	歯と口の健康週間②中に保健指導やバイトスキャンによる測定、保健講話を聞いた生徒が、歯みがきに関するアンケート結果を共有することを通して、これまでの歯科指導を振り返り、自身の健康につながる行動を継続、変容していく意欲をもつことができる。		
学習材	・ 10月に行ったアンケート結果（一部） ・ 歯みがきの呼びかけを目的に「歯みがきは愛なんだ」の曲紹介（給食後13：22～） ・ パタカラ体操（生徒集会ごとに毎回実施）		
成 果	集会での成果は特に見えないが、翌日から「歯みがきは愛なんだ」を放送することで、口ずさみながら行動している姿が見られた。音楽が流れ始めてから歯みがきに向かう生徒もあり、放送が歯みがきのよいきっかけになることが明らかになった。		
課 題	・ 生徒集会の翌日に歯みがきチェックを行ったが、大きな変化はみられなかった。保健委員のチェックの仕方に問題があるかもしれないが…。とはいえ、1年生はよく歯みがきしている。89.2%であった。 ・ 歯みがきをしない生徒にも、よくわからない信念がある。「私は人混みの水道に行きたくない。」「ぼくは夜にみがいているから学校ではみがかない。」と堂々と言っている姿があるため、受け入れるしかないのか。		